

## サステナブル経営の強化

# 2つのビジョンの実現を通じて、 社会と事業の持続的な発展を目指す

## ヤマトグループが取り組む 環境・社会のマテリアリティ



ヤマトグループは、2020年1月、中長期の経営のグランドデザインとして経営構造改革プラン「YAMATO NEXT100」を策定しました。その中で、「サステナビリティの取り組み～環境と社会を組み込んだ経営～」を基盤構造改革の一つに位置付け、持続可能な未来を切り拓く将来の姿として、環境・社会ビジョンを掲げるとともに、重要課題(マテリアリティ)を特定し、2050年の温室効果ガス(GHG)排出実質ゼロ\*など長期目標を設定しました。

そして2021年1月に策定した「サステナブル中期計画2023【環境・社会】」では、2つのビジョンの実現に向け、マテリアリティに対する2023年までの到達目標と具体的な行動内容を設定しました。本計画に基づき、社会と事業の持続的な発展に向けた取り組みを推進しています。

\* 自社排出(Scope1とScope2)

## 持続可能な社会の実現に向けた 2つのビジョン

### 環境ビジョン

「つなぐ、未来を届ける、グリーン物流」



「つなぐ、未来を届ける、グリーン物流」へヤマトグループはさらに進化します。

人や資源、情報を高度につなぎ、輸送をより効率化させ、環境や生活、経済によりよい物流を実現します。

GHG 排出実質ゼロに挑戦し、持続可能な資源の利用・消費モデルを創造し、強く、スマートな社会を支えます。

### 社会ビジョン

「共創による、フェアで、“誰一人取り残さない”社会の実現への貢献」



\* 誰一人取り残さない：SDGsが掲げる基本理念

ヤマトグループは社会的インフラ企業として、フェアで効率的な事業プロセスを通じて、あらゆる人々にものや価値を届けることで、社会における様々な格差や障害を解消・低減し、社員やお客様など様々な人々の生活の質(QOL)向上に貢献します。

リアルの強みとデジタルイノベーションの推進、そして多様なパートナーとの共創により、社会課題の解決を目指し、“誰一人取り残さない”社会の実現にリーディングカンパニーとして貢献していきます。

📖 マテリアリティに対する具体的な目標や行動内容については、P36～37「サステナブル中期計画2023」をご覧ください。